

子供（小学校高学年）の体重

更新日：2007.3.30

<代表値>

男性： 36.9kg

女性： 37.0kg

<代表値のもととなる資料>

学校保健統計調査は、文部科学省（2006）が児童や生徒及び幼児の発育（身長、体重及び座高）及び健康状態（栄養状態、各種疾病の有無など）を明らかにすることを目的として毎年実施視している全国規模の調査であり、昭和 23 年度から実施されている。代表値の根拠とした 2005（平成 17）年度の調査では、調査実施校に在籍する満 5 歳から 17 歳（平成 17 年 4 月 1 日現在）までの児童、生徒及び幼児の一部を調査対象としている。各都道府県における標本抽出の方法は、確率比例抽出法が用いられた。体重が計測される発育状態の調査では、調査対象者数は、小学校 2,820 校に在籍する男女 270,720 人、中学校 1,880 校に在籍する男女 225,600 人であり、全児童・生徒の 4.6%に相当する。

小・中学生の体重（kg）

		男		女	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
小学校	6歳	21.6	3.55	21.1	3.42
	7歳	24.3	4.34	23.6	4.03
	8歳	27.4	5.44	26.8	5.03
	9歳	30.9	6.56	30.2	6.14
	10歳	34.7	7.65	34.4	7.34
中学校	11歳	39.1	9.16	39.5	8.21
	12歳	44.9	10.34	44.4	8.70
	13歳	50.1	10.58	48.0	8.29
	14歳	55.3	10.62	50.8	8.09

出典：文部科学省（2006）

注：年齢は平成17年4月1日現在の満年齢である。

代表値は、年齢別体重の平均値のデータをもとに 10 歳と 11 歳の体重を平均したものである。10 歳と 11 歳の体重の平均は、男性で 36.9kg、女性では 37.0kg となる。

<追加的情報>

国民栄養調査は、厚生労働省が国民の栄養状態や栄養素などの摂取量を把握するために毎年実施している全国規模の調査である。国民栄養調査は、1945（昭和 20）年から開始され、1995（平成 7）年からは、世帯構成員の間で料理がどのように分けられたのかという料理ごとの個人の食事量の割合を調査する「比例案分法」が用いられ、個人の 1 日摂取量を把握することが可能になった。これ以前の調査では、世帯単位の摂取量を記録する「3 日間秤量記録法」が用いられていた。また、食品摂取量のほかに、身体状況（身長、体重、BMI、血圧など）の調査も行われている。

2000（平成 12）年の調査では、平成 12 年国民生活基礎調査で設定された単位区から無作為抽出した全国の 300 単位区の世帯（約 5,000 世帯）及び世帯員（約 15,000 人）を調査客体とした。実際の調査対象とな

子供（小学校高学年）の体重

更新日：2007.3.30

った世帯数は 4,482 世帯，身体状況調査の対象者数は 12,271 人である。そのうち 6 歳から 15 歳で体重データがあるものは，男 647 人，女 633 人の計 1,280 人である。2000 年における，年齢別の平均と標準偏差の値は，下表の通りである。男女・年齢階級別のデータをもとに，10 歳と 11 歳の体重を平均すると，男性で 35.7kg，女性では 36.4kg となる。

子供の体重（kg）

	男			女		
	人数	平均値	標準偏差	人数	平均値	標準偏差
6歳	53	22.4	4.1	60	20.8	3.6
7歳	59	24.2	5.2	63	23.2	3.8
8歳	63	28.0	6.4	63	26.1	4.2
9歳	71	30.6	6.6	73	30.9	7.1
10歳	65	33.5	6.6	54	34.3	6.9
11歳	70	37.8	9.3	65	38.5	6.0
12歳	56	42.6	8.8	62	45.3	7.3
13歳	76	49.3	9.0	59	46.3	7.3
14歳	63	56.2	12.7	71	49.0	6.9
15歳	71	56.0	7.9	63	50.2	6.2

出典：健康・栄養情報研究会（2002）

<数値の代表性>

◇ 代表値の信頼性：高

一般的な判断基準に基づくと，信頼性は高い。

◇ 代表性に関する情報

代表値のもととなる資料

学校保健統計調査は全国規模の調査であり，調査実施校に在籍する満 5 歳から 17 歳までの児童，生徒及び幼児の一部を調査対象としている。

追加的情報

国民栄養調査は全国規模の調査であり，国民生活基礎調査で設定された単位区から無作為に抽出した 300 単位区からサンプリングされた約 15,000 人を対象としている。調査方法としては，医師，保健師，看護師などが対象者の身体調査（体重・身長など）を行っている。調査は 11 月のある 1 日に行われている。

◇ 入手できた資料の数

上記 2 資料であった。

<引用文献>

代表値

文部科学省（2006），平成 17 年度学校保健統計調査報告書，独立行政法人 国立印刷局。

追加的情報

健康・栄養情報研究会（2002），国民栄養の現状（平成12年厚生労働省国民栄養調査結果），第一出版。

<更新履歴>

2007.3.30 / 新規にデータを公開しました

米国 EPA 暴露係数ハンドブックでの推奨値

米国 EPA の暴露係数ハンドブックでは、子供の体重の推奨値は年齢ごと（男女 6-11 ヶ月・1～19 歳の体重の平均値）に示されている。このデータをもとに、10 歳と 11 歳の体重を平均すると、38.7kg（男性：38.4kg，女性：39.0kg）となった。もともとなった調査は、National Health and Nutrition Examination Survey II であり、National Center for Health Statistics（1987）：Anthropometric Reference Data and Prevalence of overweight, United States, 1976-80 で公表されている。この調査は、全米規模の調査であり、1976～1980 年にかけて、6 ヶ月～74 歳までの 28,000 人（回答者：20,322 人）を対象に行われている。人種・年齢・男女別の体重のパーセンタイル値も記載されている。